

若葉台団地の特徴

1 未来に向けたまちづくりへのチャレンジ

横浜市は、国家プロジェクト「SDGs 未来都市」の選定を平成 30 年 6 月に受け、環境を軸に経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいの創造を目指しており、若葉台団地は「住みたい、住み続けたいと思える郊外部」として実施計画に位置付けられています。

また、横浜市旭区は、「Transforming our World (我々の世界を変革する) 未来に挑戦するあさひ」をスローガンに掲げ、地域が様々なパートナーと連携するチャレンジにより、郊外部モデルの実現を目指しています。若葉台団地では、平成 30 年 4 月に公民連携の総合窓口「SDGs 若葉台フロント」を立ち上げ、新たに企業や大学が参画する多様なパートナーシップにより地域の課題解決を推進しています。

オンデマンドバス実証実験	(一財)若葉台まちづくりセンターが主体となり、ヨコハマSDGs デザインセンターと連携し、MONET Technologies(株)の配車プラットフォームを活用したオンデマンドバスの導入に向けた取組を進行中。
IoT で再配達解消の宅配システム実証実験	I・TOP 横浜の一環で市と京セラが協働し、宅配ボックスの利用状況をリアルタイムで確認でき再配達率を低減。宅配ボックスメーカーの白山機工や佐川急便、日本郵便が参画。



オンデマンドバス実証実験を計 4 回実施

旭区 HP: <https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/shokai/SDGs/asahi-x-sdgs.html>

2 高層住宅団地開発による人と自然の調和の取れた豊かな住みよいまち

若葉台団地は、全地区を 4 つの近隣住区とし、極力中心部に集中させたワン・センター配置とすることで、歩行者と車の動線を立体的に分離させています。また、斜面緑地の保全や自然環境との結節点に広場を設けるなど、自然地形を生かした住棟配置としています。三保市民の森などの森林や農地に囲まれ、自然の恩恵を受けて気温が下がり夏は、横浜市内で最も涼しい地域の一つとなっています。



若葉台団地の玄関口
バスセンター



三保市民の森
住民の生活を支える
ジョブ・センターわかば



若葉台の春



日向根公園側から
見た若葉台

- 自動車専用道路
- 歩行者専用道路
- 公園
- + 病院・診療所
- + 一般財団法人若葉台まちづくりセンター

<若葉台団地配置図>

<若葉台団地の概要>

所在地・面積	横浜市旭区若葉台一丁目～若葉台四丁目/約 89.6ha
開発時期	昭和 54 (1979) 年入居開始 (2019 年で入居 40 周年)
人口・高齢化率	14,038 人 (2019.3 時点) /49.4% (2019.3 時点)
戸数	14 階を中心とした 75 棟の中高層住宅団地 <分譲 5,186 戸 (多様な間取り) /賃貸 790 戸 (バリアフリー化) 高齢者住宅 326 戸>
設置者	神奈川県住宅供給公社
管理・運営	(一財)若葉台まちづくりセンター (マンション・駐車場管理、商店街運営管理、不動産売買・賃貸仲介、住宅リフォーム、生活支援サービス等)
管理組合	100 年マンションプロジェクトによる攻めの管理
駅へのアクセス	神奈中バス鶴ヶ峰駅行 23 分/市営バス十日市場駅行 13 分
その他	アンケートの回収率が 8 割以上/2025 年問題を見据えた旭区大規模団地再生モデル構築事業実施/24 時間監視防災センター設置

(1) 豊かなライフスタイルを選択できる施設が充実したまち

若葉台団地は、開発当時、予想されていた生活像（余暇時間の増大、労働時間の短縮）へ対応するため、レクリエーション施設が充実しているとともに、体育館や料理室、図書館などを備える文化施設で、多種多様な講座やイベント、教室等を開催しています。



大貫谷公園プールには
たくさんの子供たちが
集まる



テニスコートあり



野球グラウンドでは元気な
子供たちの声が響き渡る

<若葉台団地のスポーツ・文化施設>

主な スポーツ 施設	スポーツ施設約 10 箇所 野球場：若葉台公園多目的広場、日向根公園野球場 テニスコート：日向根テニスコート 3 面、大貫谷テニスコート 2 面 プール：大貫谷公園 体育館：横浜わかば学園、若葉台中学校、若葉台小学校、星槎中学高等学校、クラブ施設（旧西中） スポーツジム：オアフクラブ
	文化施設 若葉台地区センター、若葉台カルチャースクール

(2) 子育て環境の充実

若葉台団地は、開発前の地形と植栽が残されています。団地内には豊かな動植物や 10 の公園（14.8ha）が整備されていることもあり、森の中のまちといえる環境があります。また、歩車分離を行い、安全・快適に移動ができるよう計画されています。さらに、地域ぐるみで子育て環境を整えていくため、「住みやすく・子育てしやすい」まちづくり「横浜若葉台こどもみらいづくり宣言」をしています。



自然林を生かしてつくられた若葉台公園



親子が集うそらまめ



自然林の中は都会だといふことを忘れるほど



コミュニティオフィス
春では子育てサロンを開催

(3) 地域の活動・活動団体が盛んで子どもから大人まで毎年の思い出を共有できるまち

若葉台団地ではイベントやお祭り、団体による活動が盛んに行われています。住民活動が盛んなことにより住民の健康が維持され、人の繋がりやお出かけの機会の創出により高齢者が元気なまちを維持しています。

<年中行事・参加者数>

4月	桜まつり（約 500 人）
5月	鯉のぼり&みんな集まれ（約 500 人）
6月	高齢者交流会（約 500 人）
7月	夏祭り（約 35,000 人）
10月	大運動会（約 1,300 人）
11月	文化祭（約 5,200 人）
12月	キャンドルナイト（約 500 人）
1月	正月マラソン大会・どんど焼き（約 600 人）



1月：正月マラソン大会



4月：若葉台桜祭り

<活動団体>

スポーツ・文化	NPO 法人若葉台スポーツ・文化クラブ ⇒年間利用者述べ約 19 万人
交通支援	NPO 法人あさひ NPO 法人「いっばい」若葉台事業所のこの会
子育て支援	若葉台子育てささえあい連絡会 ⇒年約 60 回イベントを開催 ⇒プレイパーク、育児支援イベント「わいわい広場」、見守り付きのキッズルーム「わかさぼ」、多世代交流拠点「みんなあつまれ」 コミュニティ・オフィス春 ⇒WEB マガジン「若葉だい家族」と子育て情報誌「Haru からはじまる」の発行
その他	NPO 法人若葉台 ⇒子育てや高齢者、障がい者など様々な分野の 6 施設を運営



5月：みんなあつまれ



7月：夏まつり（花火大会）



12月：キャンドルナイト

3-2-2 ココロで感じる横浜若葉台の魅力

- ・若葉台の当初基本計画は、以下の①～④の点に主眼をおいて計画されました。（P7参照）
 - ①高層住棟の利点を最大限活かし、人と自然の調和のとれた豊かな住みよい街を目標に整備
 - ②将来のライフスタイルに対応するため、豊かなレクリエーション施設を配置
 - ③郊外にあっても都市的な雰囲気を持たせるよう計画したワン・センター配置
 - ④自然地形、環境を極力活かした住棟配置
- ・こうした斬新なコンセプトのもと、計画的かつ一体的に整備された大規模新市街地を舞台として、住民同士が「子どもたちのふるさとづくり」を目指し、運動会・文化祭・夏まつりなど多彩な行事を作り上げ、継続し、豊かなコミュニティと住民相互の親睦や相互扶助の精神を育みながら、若葉台にしかない独自の魅力を作り上げてきました。
- ・その多種多様な魅力の多くは「豊かな自然に囲まれた日々の生活」や「温かい人々との繋がり」など、形や数値にすることが難しいものです。本マスタープランでは住民へのアンケートを通じて、若葉台の生活の中において実際に五感で感じることができる魅力の片鱗を少しでも多くの方に伝えられるよう、また住民が共有・再発見できるよう、想いを込めてまとめました。



(1) ホンモノの自然が味わえる若葉台の暮らし



四季の風情を感じる地域内の遊歩道での散歩が楽しみです

遊歩道は、夏の猛暑日でもひんやりした木陰があり、涼しい道を選んで散歩を楽しめます。四季の移ろいを直に感じることができる若葉台の暮らしがとても気に入っています。(50代女性/四丁目/在住21年)

春の桜、夏の日差しに映える緑、秋の紅葉など、そよぐ風、葉音、夜闇、虫の声、山椒の香り、木下に落ちるくぬぎ、しらかしの実。雨の日は雨の、曇の日は曇の、冬には冬の風情を感じます。

「え！？ここが横浜？」まるで別荘にいるかのように癒され暮らせませす。

緑の多いことに魅力を感じて引っ越してきました。季節の移り変わりが感じられる住み心地に満足しています。冬から春への若葉台は、うぐいすの鳴き声を間近に聞くことが出来、新緑の頃になるとベランダからはまるで別荘にいる様な気分です。夏は風が涼しく、仕事先の東京からバスに乗って帰ってくるとほっとします。(70代女性/一丁目/在住24年)



様々な動植物とのふれあいは子どもが豊かに育つ上では必須！

夏にはホタルが見られ、春には小鳥のさえずり、夏秋も虫の声が聞けて風情有ります。すぐ隣に市民の森があり、自然を楽しめ、春には山菜も採れる。夏になると公園で虫捕りができるので、子供が自然に触れる機会がたくさんあります。(40代女性/二丁目/在住35年)

引っ越して良かった！若葉台生活を満喫しています。

引っ越して来た7年前に、友人達に宛てたハガキに「朝はうぐいすの声で目覚める毎日です！！」と書きましたが、今も同じ環境で満足しています。(60代男性/一丁目/在住7年)

60年前前の小学校時代に大百科辞典で見た「緑に囲まれた欧州のアパート群」に住んでいるようです。当時の憧れが実現した？(70代男性/四丁目/在住10年)



(2) 若葉台だからこそできるライフスタイル



大自然に囲まれながらも若葉台にいれば一通り何でもそろっている

若葉台全体の景観は他にみない美しい街並みだと思います。特に電柱がないところがとても美しいです。地域包括ケアプラザ、地区センター(体育館有)、スポーツクラブ(テニスコートなど)又オアフクラブなどでの活動を通して、安心しておだやかに暮らすことが出来ています。グラウンドもあり、銀行、郵便局、地域のクリニックなどが若葉台の中ですべて間に合うのがとても助かります。(60代女性/三丁目/在住15年)

家に引きこもっている暇がないくらい地域活動が豊富。友達もたくさんできた

各老人会に種々のクラブがあり、試合後には、食事をしカラオケをやり、にぎやかに雑談をし、お友達もたくさん出来、家に引きこもっているひまがありません。70才近くになって、足、腰が弱くなってきたのでグラウンドゴルフを始めたところ、たくさんの友達が出来ました。(80代女性/四丁目/在住30年)



地域の活力がスゴイ!! 暖かいまち横浜若葉台

まち全体の行事(まつりの会主催による花見やまつり)を中心に、文化祭、大運動会、キャンドルナイト、恒例の暮れのもちつき、どんど焼き、ふるさとづくりとはいえ、よくこんなに様々な行事を実施し継続してきたと思います。そこに団結力やおもいやり(住人のためにという想い)などを感じています。多方面のありとあらゆる角度から見てもすばらしい魅力を感じています。(70代女性/四丁目/在住33年)



中央商店街が生活の中心

コーヒーショップ、本屋、屋のカレーなど中央商店街へ毎日一回は出かけます。また、週に2~3回仕事に出かけていて、車での交通は便利です。(70代男性/四丁目/在住32年)



(3) 若葉台で暮らすからこそ、成長できた



地域のコミュニティが子どもを育ててくれる

小中学校の登下校を見守ってくださるパトロールの方をはじめ、たくさんの方が子どもたちを我が子や孫のようにかわいがってくださるので親としてもとても心強いです。特に反抗期には第三者の声が一番だと思い、必要な時は遠慮なく叱って下さいとお願いしています。親である私たち自身も多世代の方々と接する中で、多くのことを学ぶことができます。(40代女性/三丁目/在住30年)

「地域の目」のあたたかみを感じながら子育てができる

地域活動に参加をして、たくさんの知りあいが増えました。子育てに不安があったとき、子育てに孤独を感じていたとき、まちで出会った方からの子育て指南があって頑張れました。我が子もたくさんの人に声を掛けられて、グれることはなく育ちました。そればかりか、多くの年代の方々と話す機会がとても多かったので、人とのコミュニケーション能力が本当についているようにも思います。「地域の目」に有り難さを感じています。(40代女性/一丁目/在住18年)



自分たちでまちづくりを行っている実感できる日々

当初若葉台に移り住んだ頃は若葉台の中で活動するよりは、外へ外へと出掛けておりましたが、今は仕事でも趣味でも若葉台の皆様と楽しくお付き合いさせて頂いております。

地域の活動は、当初面倒だなと思っておりましたが、活動の中でいろいろな人と出会い、これらの出会いは人生を豊かにしてくれました。本来関わることもない別の世代の方々とも関わり、いろいろな経験ができています。まちづくりは行政などが行っていくものばかり思っておりましたが、ここでは、住民が色々なところで活躍されており、自分もまだまだ負けていけないという気にさせられます。(70代女性/二丁目/在住33年)



(4) ここも好き！みんなの若葉台！

ほかにもこんな意見が・・・

- 桜はもちろんのこと、丁目によってはあじさいが満開になったりつつじが道路沿いに咲いていたり目を楽しませてくれるところが良いです。(50代女性/四丁目/在住20年)
- 季節や天候によって変わっていくまちの様子をながめるのが好きです。木々や花、空だとか、人の服装だとか、立ち話をしている人のおしゃべりの内容とか、朝早くひと気のない商店街を歩くのもオモシロイ。公園やベンチが多く、ポーッとできる場所がたくさんあるから嬉しいなー。(50代女性/二丁目/在住28年)
- 若葉台は自治会やまちづくりセンターやまつりの会などの催し物が多いから、人々の関係性が良いように感じます。例えばエレベーターで顔を合わせただけでも小さな子供でもきちんと挨拶したり、老人をいたわったり、子供を見守ったりと地域全体が一丸となっています。今まで住んでいたマンションでは考えられない事です。(40代女性/三丁目/在住6年)
- 集会室で行なわれていた赤ちゃん教室で出会ったママ友とはもう15年近いお付き合い。成長期の同じような悩みや気がかり、グチも遠慮なく話したり、自分では見きれない社会(地域)での子どもの姿を一緒に目配りしてもらったり、意見を聞けることが本当にありがたいです。(40代女性/三丁目/在住30年)
- テニス、ソフトボール、グラウンドゴルフなどスポーツを楽しめる環境が整備されて、誰でも気軽に参加出来るグループが沢山あり健康維持に魅力を感じます。自治会活動が活発で、いろいろなイベントがいつもどこかで開催されていて住民相互の親睦醸成の機会に恵まれています。(70代男性/一丁目/在住36年)
- 公園に設置されている健康遊具は健康増進および病後のリハビリに効果があります。地域内には数多くの広場があり、野球、グラウンドゴルフなどで汗を流すことが出来るのも魅力の一つです。各自治会が寄付金を集め花火大会の一部にしていることは、住民としてすばらしいことで誇りに思っています。(70代男性/二丁目/在住33年)
- 体力を付けたくて入ったノルディックウォーキングで知り合いができ、友人となりこの年齢でも何でも話せる人々と出会うとはびっくりでした。人生が変わりましたありがとうございます。(非公表)



平成28年 若葉台に住んで感じる魅力に関するアンケート調査(抜粋)

		地域、活動	交流、繋がり	子育て	自然
対象者	32歳女性 居住年数2年	35歳女性 居住年数3年	36歳男性 居住年数3年	38歳女性 居住年数3年	40歳女性 居住年数3年
五感で感じる魅力	木の緑や、花の色を見て、季節の移ろいを感じることができる。子供と散歩しながら、自然に触れる事ができるので、良い教育になっていると思う。近所にこれだけ自然とふれ合えるのはありがたい。	車が入ってこないのので、子供と散歩が安心してできる。その中で色々な動植物を見たりなき声をきいたりして、実体験ができる。	子供みこしや暑気払いで季節を感じられる。	緑が多く、くわがたやかぶとむしなど珍しい昆虫を捕まえることができ、子供たちが喜んでいいる。	-
心で感じる魅力	桜がキレイ。夏祭りが盛大で楽しい。車が入ってこないのので子どもを安心してあそぼせることができる。公園がたくさんあり遊ぶ場所に困らない。	春のお花見。外でおべんとうを食べたり、みんなで遊んだり、それがすごく楽しい！	自治会はイベントが多い。	春、夏、秋、冬、と季節に色々なイベントがあり、四季を感じることができる。	祭りや運動会など行事がたくさんあるので、家族で楽しめるのが魅力です。
学び・成長	近所の人や、すれちがう人と自然とあいさつをかわす習慣があり、子供も人見知りせずあいさつできるようになった。	そらまめを利用して、そこで出会ったママさんや友だちとの出合いで、色々なことを学び吸収し、成長に結びついている。	福岡から転居してきたが、地域の皆さんとのつながりがあり、安心出来る。	自治会役員をし幅広い年齢の方と交流を持ち子供たちにも目をかけてもらっていて、子供自身も交流をととても楽しんでいきます。	地域活動が盛んなので、自ら積極的に参加できた。
ライフスタイル	子供との散歩。家族3人で公園に行く。	子どもとの散歩。そらまめ、地区センター、アスレチック公園、ジャブ池…etc 色々組み合わせられる。	毎夏、子供とプールに通うこと。	若葉台を歩くと、必ず知り合いに会い、あいさつや会話をします。	-
人間関係	そらまめでたくさん友達ができた。自分も子供も良い刺激をもらい励みになる。そらまめが無かったらもっと孤独な育児をしていたと思います。	そらまめを通してママ友ができ、自分の子どもが友だちと楽しそうに遊んだり、自分もママ友と話ができてリフレッシュできる。	子供を通じての知り合いも多く良かったと思う。	ボランティア活動に参加し沢山のつながりができた。	自治会の活動を通して、性別や年齢を問わず様々な方々と知り合え、友達もできました。